

会議議事録（要旨）

1 会議名	平成 28 年度 第 6 回長岡市地域公共交通協議会
2 開催日時	平成 29 年 3 月 24 日（金曜日）午後 1 時 30 分から
3 開催場所	長岡市社会福祉センター トモシア 3 階多目的ホール
4 出席者名	安達会長、佐野副会長、天野委員、松本委員（代理：栗原様）、波塚委員、真島委員（代理：本間様）、大橋委員、中山委員、小松委員、吉田委員、小林委員、志賀委員（代理：小山土木施策調整課長） 【随行員】 新潟県警察本部企画管理係 中沢係長 【事務局】 田村交通政策課長 他 3 人
5 議題	(1) 長岡市地域公共交通網形成計画の策定 (2) 平成 29 年生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）の計画変更
6 報告事項	(1) 和島地域乗合タクシー運行事業者の変更
7 協議結果の概要	・議題(1)～(2)について承認された。
8 審議の内容	
【その他】	委員の交代について
事務局	・新潟県警察本部の伴委員が真島委員と交代したことを報告。
【議題】	(1) 長岡市地域公共交通網形成計画の策定
事務局	資料に基づき、議題を説明 (質疑応答なし) (議題(1)につて事務局説明のとおり承認される。)
【議題】	(2) 平成 29 年生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）の計画変更
事務局	資料に基づき、議題を説明

会長	ただ今の説明について、ご質問がありましたらお願い致します。
副会長	・ミヤコ新聞販売センターが福祉タクシーの導入を取り下げたのはなぜか。また、前回協議会時点では導入予定のなかったカンコーと長岡タクシーが急に福祉タクシーの導入をすることになったのはなぜか。
事務局	・ミヤコ新聞販売センターは既に福祉タクシーを1台所有しており、今年度はもう1台導入の予定であったが、社内の事情により、現在所有している1台で十分であると判断されたためである。カンコーと長岡タクシーは、トヨタのユニバーサルデザインタクシー（多機能の新型車）が今年の秋に導入されるという報道があったためである。
会長	・福祉タクシーの導入の変更はいつ頃までに申請すれば良いのか。
事務局	・5月中旬までに国へ申請する予定となっているため、それまでに協議会で承認がもらえれば何回でも変更可能である。
	(その他、質疑応答なし)
	(議題(2)について事務局説明のとおり承認される。)
【報告事項】	(1) 和島地域乗合タクシー運行事業者の変更
事務局	資料に基づき、議題を説明
副会長	・出雲崎交通が乗合タクシー事業に参入しなくなった事情を差し支えない範囲で教えて頂きたい。
事務局	・経営が芳しくなく、新たな事業を始めるよりも、既存のタクシー事業を守りたいという思いがあるためである。
会長	・出雲崎交通は新たに乗合タクシー事業を始めれば仕事は増えると考えられるが、タクシーの台数や乗務員の人数を増やさなければならない等の事情があるため参入することが難しいということか。 ・寺泊交通のみで今後和島地域の乗合タクシーを運行していくことになるが、現時点で何か懸念される事項などはあるか。
事務局	・出雲崎交通についてはその通りである。 ・現時点では寺泊交通からそのような連絡は受けていない。

委員	・1社で運行することになるということだが、運行内容等に変更はあるのか。
事務局	・これまで通りのサービスで変更などの予定はない。
【その他】	情報提供
委員	・中央循環バス（くるりん）と小千谷市を運行する路線バスのルートを変更することを報告。
委員	・資料に基づき、改正道路交通法の施行について報告。
【その他】	全体を通しての確認
委員	・今後の協議会では公共交通網形成計画での事業の進捗状況の報告をしてもらいたい。策定だけで終わるのだけではなく、計画の中で記載された事業がどう進んでいるかを協議会の中でフォローアップしていくべきだと考えている。
事務局	・進捗については今後協議会の中で報告していきたい。
副会長	・委員からもお話があったように、計画を策定するだけでなくしっかりとその内容に沿って事業を実施することが重要だと考えている。 ・公共交通は以前だと採算の低い路線をどう維持するかがメインの課題となっていたが、最近は供給する側にもドライバーの高齢化や人数・台数の確保などの課題もあるので、それらも含めて検討していく必要があると考えている。
【その他】	スケジュールについて
事務局	・新年度については第1回協議会を6月ごろに予定している。
(以上)	

■協議会の様子

